

## 第2章

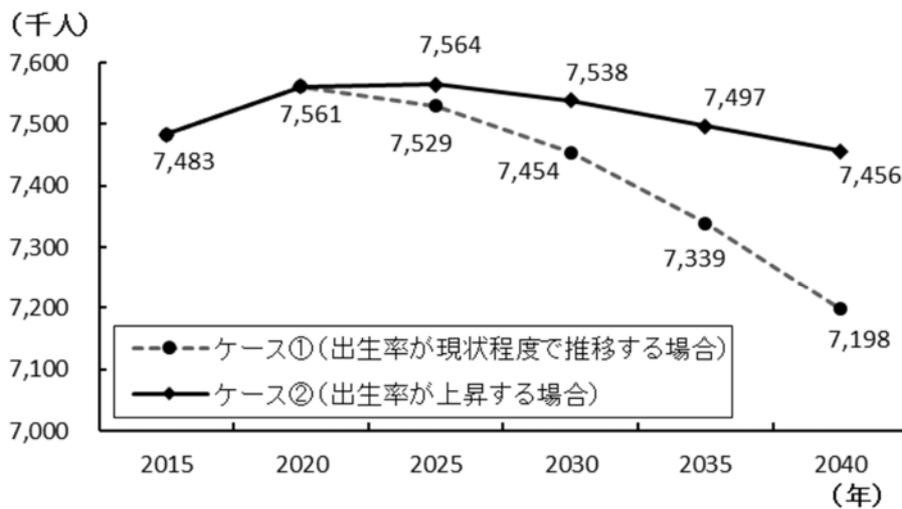
### 愛知県を取り巻く現状と将来展望

# 1 人口減少・少子高齢化の進行、人生100年時代の到来

○ 「第2期愛知県人口ビジョン」の推計によると、本県の人口は、出生率が現状程度で推移する場合には、2020～2025年頃をピークに減少に転じ、2030年頃には約745万人と、2020年の人口（756万人）と比較して11万人程度減少する見通しとなっています。

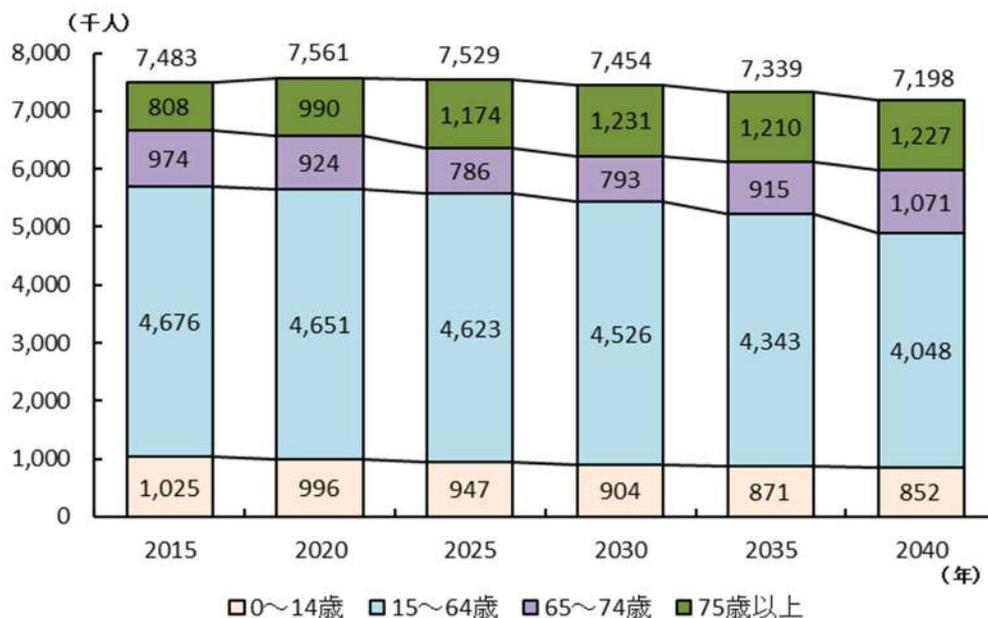
○ 年齢4区分別に見ると、「75歳以上人口」は2025年頃まで特に大きく増加し、2030年頃には2020年と比較して約24万人の増（約1.2倍）となることが予測されます。また、「65～74歳人口」も、2025年頃からは、それまでの減少傾向から増加傾向に転じる見通しです。その結果、2030年頃の本県の高齢化率は27.2%となり、約3.7人に1人が高齢者となります。

■ 図1 本県人口の将来見通し（愛知県）



資料：「第2期愛知県人口ビジョン」（県政策企画局）

■ 図2 4区分別人口の見通し（ケース①の場合）（愛知県）

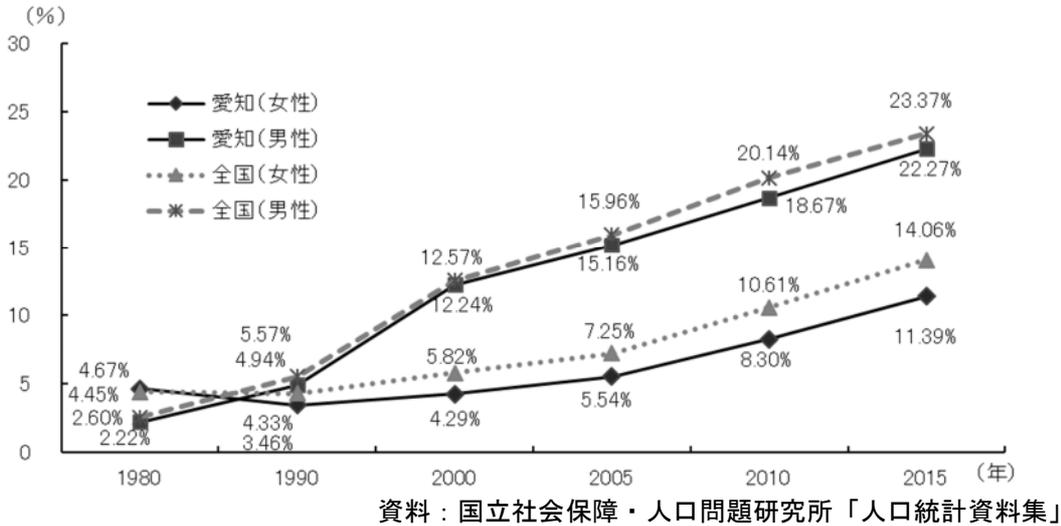


資料：「あいちビジョン2030」（県政策企画局）

## 2 単身者の増加など世帯構成の変化

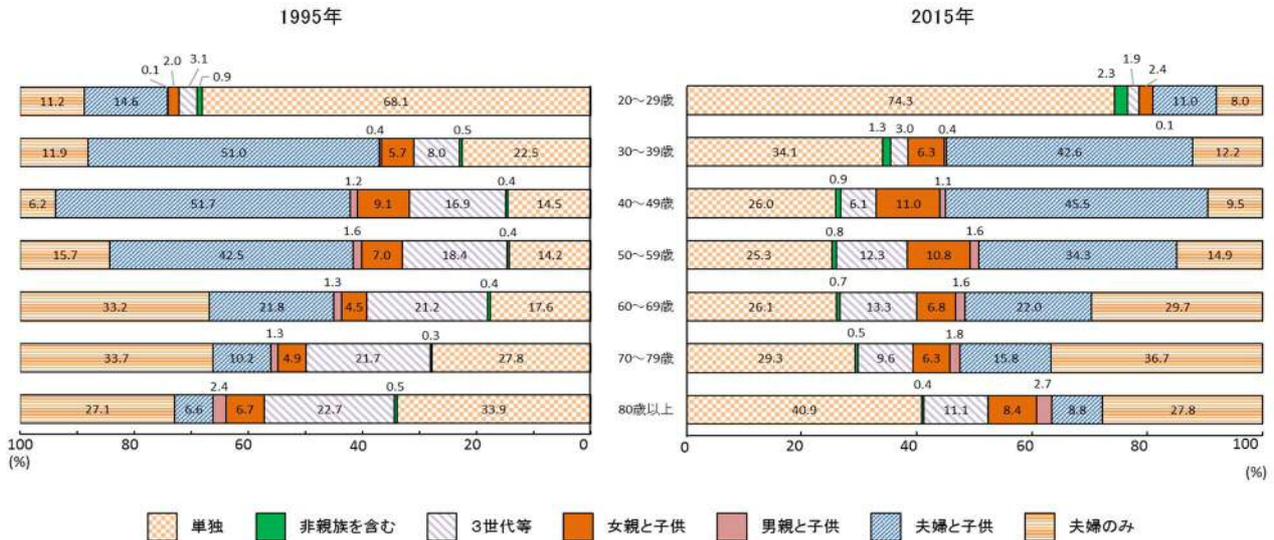
○ 50歳時未婚率は、年々上昇し続けており、1980年から2015年の30年余りの間で、女性は約2.5倍、男性は約10倍と大幅に増加しています。

■ 図3 50歳時未婚率の推移（愛知県、全国）



○ 1995年から2015年で比較すると、いずれの年齢階級においても「単独」世帯・「ひとり親」世帯の割合は上昇しており、特に30代から50代における「単独」世帯は、各年齢階級で10ポイント以上上昇しています。

■ 図4 年齢階級別の世帯の家族類型別割合（全国）

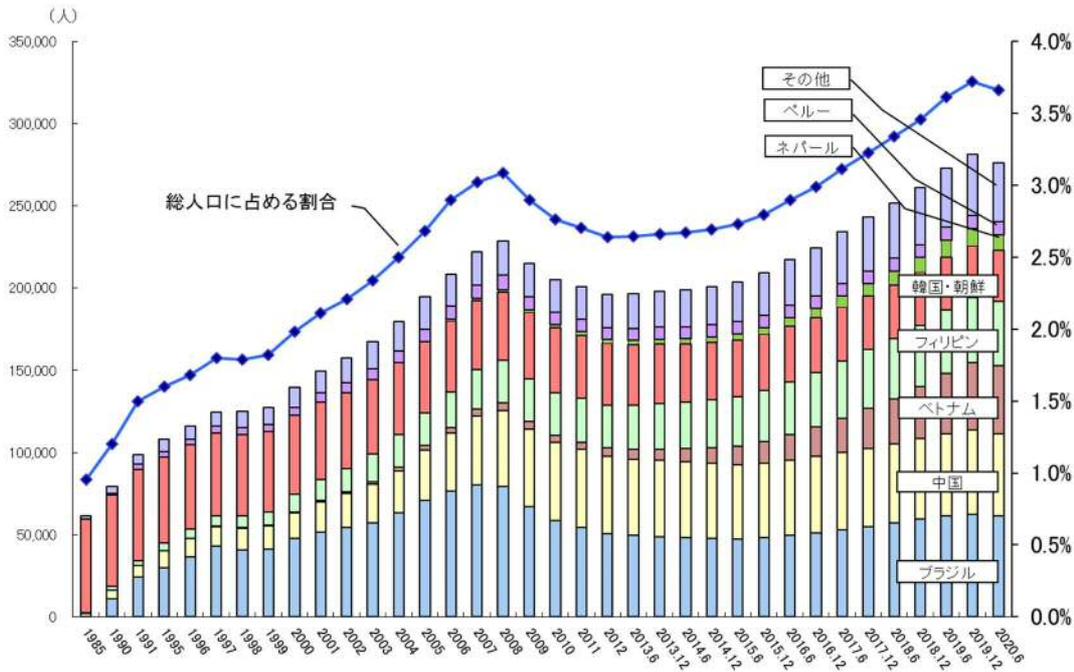


## 3 外国人県民の増加

○ 2020年6月末現在、外国人県民数は276,282人、県内総人口（※）に占める割合は3.66%で、全国第2位となっており、減少に転じたものの、中長期的には今後も増加が見込まれます。

（※県内総人口：県統計課「あいちの人口（2020年7月1日現在。推計人口）」による。）

■ 図5 外国人県民数と総人口に占める割合（愛知県）



資料：県県民文化局

## 4 大規模自然災害、世界規模の感染症によるリスクの懸念

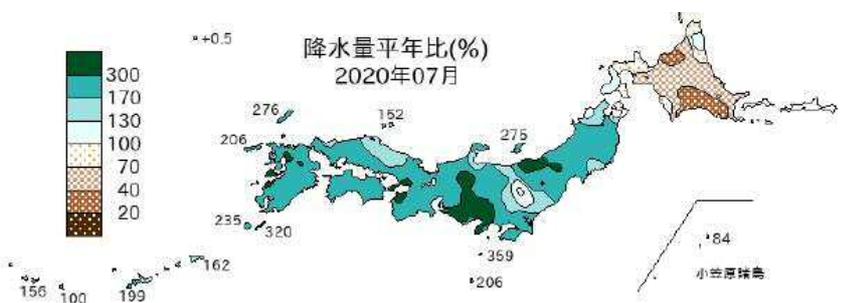
- 近い将来必ず発生するとされる南海トラフ地震や、地球温暖化等に伴う気候変動による豪雨災害の増加等、今後、大規模自然災害のリスクが懸念されています。
- また、2019年以降、世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症は、今後も、経済活動や社会生活において、女性を始めとする様々な立場の人々に深刻な影響を及ぼすことが懸念されています。

■ 表 1-1 南海トラフ地震で想定される被害

		過去地震最大モデル ( )内は理論上最大想定モデル
全壊・焼失棟数		約94,000棟(約382,000棟)
死者数		約6,400人(約29,000人)
復旧期間	上水道	6週間程度
	下水道	3週間程度
	電力	1週間程度
	通信 (固定電話)	1週間程度
直接的経済被害		約13.86兆円
間接的経済被害		約 3.00兆円

資料：県防災安全局

■ 表 1-2 2020年7月の降水量平年比



資料：2020年8月21日気象庁報道発表資料

## 5 「SDGs 未来都市」への選定

- 2019年7月1日に内閣府から「SDGs 未来都市」に選定されたことを受け、本県は「愛知県SDGs 未来都市計画」を策定しました。その中の「2030年のあるべき姿」で、社会面のめざすべき姿として「人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、すべての人が活躍する愛知」を掲げており、その実現に向けた取組を進めていきます。

■ 図6 愛知県の2030年のあるべき姿（社会面）



資料：県政策企画局「愛知県SDGs 未来都市計画（概要）」